

市区町村名	山形県 山形市	担当部署	企画調整部企画調整課
		電話番号	023-641-1212

## 1 取組事例名

山形市版PPP／PFI手法による施設等整備について ～地元企業の参加を促進～

## 2 取組期間

平成18年度～(継続中)

## 3 取組概要

- ・山形市内の4施設（山形市立商業高等学校、山形市立南沼原小学校、南部児童遊戯施設、道の駅「(仮称)蔵王」）を、PPP／PFI手法を用いて整備する検討を進めた。
- ・PPP／PFI事業を実施するに当たり不可欠である地元企業からの理解を得るため、丁寧なヒアリングを実施。結果としてPPP／PFI事業のメリットと、地域経済への貢献を両立させることができた。

## 4 背景・目的

- ・山形市内の施設について、下記のような理由から施設整備の必要性があった。

施設名	整備理由	整備手法
山形市立商業高等学校	施設の老朽化	PFI
山形市立南沼原小学校	児童数増加への対応	PFI
南部児童遊戯施設	地域住民からの要望	PFI
道の駅「(仮称)蔵王」	観光ゲートウェイ機能の整備	DBO

・平成27年度に、国から人口20万人以上の地方公共団体において「多様なPPP／PFI手法導入を優先的に検討するための指針」が示されたことにより、山形市においても平成29年3月に「山形市PPP／PFI手法導入に係る優先的検討基本方針」を定めた。この方針と照らし合わせて、上記4施設についてPPP／PFI手法での整備を検討することとなった。

・PPP／PFI手法を導入するにあたり、公共工事を大手ゼネコンが受注する可能性があることを危惧した地元企業からの理解を得る必要があった。中核市である山形市は「WTO政府調達協定」対象外のため、地域経済の活性化等の観点から市内事業者を積極的に活用するための要件を検討し、PPP／PFI事業のメリットと地域経済への貢献の両立を目指すこととなった。

## 5 取組の具体的内容

○PPP／PFI手法による事業実施に係る地元企業とのヒアリングについて

下記のとおり各施設において、建設業、電気設備業など、関連業界の事業者にヒアリングを実施した。

PPP／PFI手法導入による市民サービス向上や財政負担の軽減といった側面や、市内企業の受注機会を含めた地域経済等への貢献も考慮したいことを説明し、各業界の意見を聞き取った。

施設名称	業種・ヒアリング件数	実施日程
山形市立商業高等学校	建設業4件、電気設備業4件、 管工事3件	平成30年2月19日～ 平成30年4月10日
山形市立南沼原小学校	建設業6件、電気設備業2件、 管工事3件	平成30年11月9日～ 平成30年12月7日
道の駅「(仮称)蔵王」	建設業6件、電気設備業3件、 管工事3件	令和2年2月25日～ 令和2年3月16日

<主な意見>

- ・地元優先の配慮はありがたい。
- ・山形市に本社を有する企業をそれぞれ複数入れるようにしてほしい。

ヒアリングは施設ごとに繰り返して丁寧に行い、実施方針や落札者決定基準の設定にあたっては、地元事業者の声と施設の特性をふまえ、都度改善を図った。

## 6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

ヒアリングの結果や施設の特性を踏まえ、以下表のとおり地元配慮項目を設定した。

施設ごとの地元企業配慮項目の一覧>

	山形市立商業高校	南沼原小学校
実施方針	<p>○構成企業には、山形市内に本社を有する者を3者以上入れること。</p> <p>○地元企業のノウハウ蓄積や今後のPFI普及の意味から、山形市内に本社を有する者の積極的な参加を期待する。落札者の審査にあたっては、地域社会及び経済への貢献の度合いを考慮する。</p> <p>○電気設備工事及び機械設備工事業者については、山形市に本社を有する者をそれぞれ複数入れるよう配慮を求める。</p> <p>○代表企業は、山形市内に本社を有する者であることが望ましい。</p>	<p>○構成企業には、山形市内に本社を有する者を3者以上入れること。</p> <p>○地元企業のノウハウ蓄積や今後のPFI普及の意味から、山形市内に本社を有する者の積極的な参加を期待する。落札者の審査にあたっては、地域社会及び経済への貢献の度合いを考慮する。</p> <p>○電気設備工事及び機械設備工事業者については、山形市に本社を有する者をそれぞれ複数入れるよう配慮を求める。</p> <p>○代表企業は、山形市内に本社を有する者であることが望ましい。</p>
地元配慮	<p>○山形市に本社を有する企業が代表企業であるか。 (山形市に本社を有する企業が代表企業である場合は2点とし、その他の場合は0点とする。) 【2点】</p> <p>○構成企業に、山形市に本社がある企業がより多く参加しているか。 【2点】</p> <p>○電気設備や機械設備工事の専門業者について、山形市に本社を有する企業がそれぞれ複数入っているか。 【2点】</p> <p>○地元企業への発注金額及び発注内容等について、具体的な優れた提案がなされているか。また、その発注状況等について、市が確認するための仕組みについて優れた提案がなされているか。 【6点】</p> <p>○地域社会及び地域経済への貢献並びに地元企業の育成等について、具体的かつ優れた提案がなされているか。 【3点】</p>	<p>○山形市に本社を有する企業が代表企業であるか。 (山形市に本社を有する企業が代表企業である場合は2点とし、その他の場合は0点とする。) 【2点】</p> <p>○構成企業に、山形市に本社がある企業がより多く参加しているか。 【2点】</p> <p>○電気設備や機械設備工事の専門業者について、山形市に本社を有する企業がそれぞれ複数入っているか。 【2点】</p> <p>○地元企業への発注金額及び発注内容等について、具体的な優れた提案がなされているか。また、その発注状況等について、市が確認するための仕組みについて優れた提案がなされているか。 【6点】</p> <p>○上記の他、地域経済への貢献並びに地元企業の育成等について、具体的かつ優れた提案がなされているか。 【3点】</p> <p>○地域社会への貢献について、具体的かつ優れた提案がなされているか。 【2点】</p>

		南 部 児 童 遊 戯 施 設	道 の 駅 「 ( 仮 称 ) 蔵 王 」
地 元 配 慮	実施方針	<p>○構成企業には、山形市内に本社を有する者を3者以上入れること。</p> <p>○本事業は、地元企業のノウハウ蓄積や今後のPFI普及の意味から、山形市内に本社を有する者の積極的な参加を期待する。落札者の審査にあたっては、地域社会及び経済への貢献の度合いを考慮する。</p>	<p>○構成企業には、山形市内に本社を有する者を3者以上入れること。</p> <p>○本事業は、地元企業のノウハウ蓄積や今後のPPP/PFI普及の意味から、山形市内に本社を有する者の積極的な参加を期待する。なお、優先交渉権者の決定に係る審査にあたっては、山形市産材や木製建具の積極的な活用等、地域社会及び経済への貢献の度合いを考慮する。</p> <p>○電気設備工事及び機械設備工事業者については、構成員または協力企業として山形市に本社を有する者をそれぞれ入れるよう配慮を求める。</p> <p>○代表企業は、山形市内に本社を有する者であることが望ましい。</p> <p>○地域の特産物や地域資源を生かした商品及びサービスの企画、開発、販売・運営等の能力を有する企業を、構成員または協力企業として1者以上入れること。</p>
	落札者決定基準 (審査基準書)	<p>○構成企業に、山形市に本社がある企業がより多く参加しているか。 【3点】</p> <p>○地元企業への発注金額及び発注内容等について、具体的な優れた提案がなされているか。また、その発注状況等について、市が確認するための仕組みについて優れた提案がなされているか。 【4点】</p> <p>○地域社会及び地域経済への貢献並びに地元企業の育成等について、具体的かつ優れた提案がなされているか。 【3点】</p>	<p>○山形市に本社を有する企業が代表企業であるか。 【2点】</p> <p>○構成企業に、山形市に本社がある企業がより多く参加しているか。【2点】</p> <p>○地元企業への発注金額及び発注内容等について、具体的な優れた提案がなされているか。また、その発注状況等について、市が確認するための仕組みについて優れた提案がなされているか。 【4点】</p> <p>○隣接地及び周辺地域に立地する施設等とのすみ分けを行いながら連携を図ることで、地域経済力の向上に資する施設となることに留意した優れた提案があるか。【5点】</p> <p>○山形の伝統文化及び伝統工芸を活かした優れた提案があるか。【2点】</p> <p>○山形市産材や木製建具の積極的な活用に向けて、設計業務の段階から地元企業との対話を図る提案があるか。【2点】</p>

## 7 取組の効果・費用

4事業とも、地元企業が代表企業となるSPCと契約することとなり、地域経済に寄与しPPP/PFIを推進することができた。

<各SPCにおける地元企業の構成率>

施設名称	入札参加グループ数	入札参加グループ代表企業の本社所在地	落札者・優先交渉権者の代表企業	構成員における地元企業の割合
山形市立商業高等学校	1	山形市のみ	山形建設株式会社	100%
山形市立南沼原小学校	2	山形市のみ	株式会社市村工務店	100%
南部児童遊戯施設	3	山形市のみ	株式会社シェルター	70%
道の駅「(仮称)蔵王」	1	山形市のみ	株式会社山形県観光物産会館	100%

## 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

事業ごとに施設の性質が異なるので、都度、時間をかけて非常に丁寧にヒアリングを実施する必要があった。運営が占める割合の大きい施設については、代表企業を地元限定することで参入の足枷になることが考えられるなど、一括した要件の設定ができないため、個別の案件ごと丁寧な検討が求められた。

## 9 今後の予定・構想

今後もPPP/PFI事業を推進するにあたり、地元事業者の声を丁寧にヒアリングしながら、地元事業者の参入を促していくよう取り組んでいく。

## 10 他団体へのアドバイス

地元事業者の声を丁寧にヒアリングしながら進めることで成果を出すことができた。  
大規模施設の整備は件数が多いものではないので、案件毎に得たノウハウを将来に渡って継承していくことが課題であり、そのための仕組みを整備する必要があると考える。

## 11 取組について記載したホームページ